

子どもたちが幸せに生きる熊本に！

熊本県議会議員 つつみ泰之活動報告

つつみ @ 通信



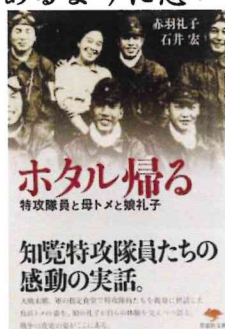
定例県議会が6月6日から25日まで開催され、11名の県議の一般質問と常任委員会・特別委員会の審議がなされました。印象に残ったのは限られた予算の中でインフラ整備や人材確保に腐心する県の姿勢と、本格的な少子化の進行による地域への影響の大きさです。高校新卒者の求人倍率が4.3倍という過去に無い高さに上昇する中、熊本県の農業、建設、公務員等の人材は採用と育成に苦しみ、一方で次世代の熊本を牽引するであろう半導体人材を育成することは急務です。そのような状況だからこそ、若者一人一人の幸せの為に、それぞれの適性と意欲を大切にし、我々が導いていかなければなりません。

【中九州横断道路建設推進大会 in 東京 靖国神社参拝】

6月3日、表記会議の為に上京し、その後、靖国神社に参拝して参りました。日本国の為、国民の未来のために命を捧げられた先人たちの御霊に感謝と自身の人生を捧げる決意を伝えながら、どのような未来を創るべきか考えていました。経済的な豊かさよりも、この国本来の自然と風土の中で日本人が日本人らしく生きていけることが先人たちの本当の願いであるように思います。



書籍紹介



『ホタル帰る』

特攻隊員と母トメと娘礼子

赤羽礼子・石井宏/著

太平洋戦争末期に知覧の特攻基地から飛び立つ若き（殆どが18歳から20代前半）特攻隊員達を私財を投じてお世話した『富屋食堂』の高浜トメさん。その活動と特攻に飛び立つ直前の若者たちの姿を、高浜トメさんの次女の赤羽礼子さんの懷述と元航空兵の作家、石井宏さんの文章で伝える書。何冊か特攻隊の本を読みましたが、2011年の発刊の本書が最も当時のことをリアルに書いていると思います

今月の数字

熊本県内の有明海で採られた海苔の生産枚数

8.4 億枚 (令和6年度)

昨年熊本県海苔の生産枚数は前年並みの8.4億枚、生産額としては他県の高水温による不漁の影響もあり前年比24%高の228億円となり兵庫、佐賀に次ぐ全国3位の生産量でした。これは熊本県の海面漁業・養殖業産出額の約5割を占め、国内における重要な産地の一つとなっています。県は水産研究センターを中心に海域環境の変化に適応したノリ生産スケジュールの提案や高水温耐性品種の養殖試験を行っています。合わせて官民連携で熊本産あさりの資源回復の取り組みによるあさりの収穫量上昇が期待されています。

製作者：つつみやすゆきプロフィール 1974年7月7日 熊本市中央区水前寺のツツミ薬局の5人兄弟の長男に生まれる。

[学校] 託麻原小、帯山中、熊本学園大学付属高校、熊本YMCA学院建築科卒

[経歴] 現場監督から建築設計事務所勤務を経て、福岡の不動産会社に勤務。平成18年に開業・現職

2022年5月の熊本県議会議員選挙熊本市第一選挙区補欠選挙にて20033票で初当選、2023年4月、10,789票で2期目当選

[資格] 宅建士・宅建マイスター・不動産コンサルティングマスター・2級建築士・CFP（国際認定FP資格）・防災士